

ふるさとづくり

なかのしま

Nakanoshima

第4号
2009.12.25

編集・発行／長岡市中之島地域
ふるさと創生事業実行委員会



事業 その1 伝統行事体験事業

6月6日(土)～6月8日(月)、大風合戦会場に市民観覧席を設置しました。
さらに11月10日(火)、中之島中学校の3年生がグラウンドで風揚げに挑戦しました。……………2 P

事業 その2 なかのしま探検隊

7月26日(日)、10月13日(火)の両日、中之島地域にお住まいの方を対象に、中之島の名所めぐりを実施しました。……………4 P

事業 その3 大口れんこん収穫体験ツアー

9月26日(土)、中之島の特産品「大口れんこん」の収穫体験を実施しました。
昼食には、大口れんこんをメインに、中之島の食材を使った料理が振る舞われました。……………6 P

「郷土の偉人、大竹貫一先生の像を記念にパチリ!」

7月26日(日)【なかのしま探検隊】

事業その1
伝統行事体験事業

6月6日(土)から8日(月)の3日間、刈谷田川堤防で、350年以上の歴史を持つ伝統の「長岡市中之島・見附市今町大風合戦」が繰り広げられました。

中之島地域ふるさと創生事業実行委員会では、大風合戦の醍醐味と迫力を大勢の皆様から体感してもらおうと、刈谷田川堤防上に市



市民観覧席は、連日多くの皆様からご利用いただきました

民観覧席を設置しました。

この市民観覧席は約80人収容可能で、3日間で延べ600人の皆様からご利用いただきました。

市民観覧席では、中之島地域の特産品をPRしようと、笹団子やれんこんサブレなどを販売。市民観覧席の利用者をはじめ、多くの来場者が足を止め、購入されていた



地絡めに「参戦」した中之島中学校の大風

ました。

8日(月)には、中之島中学校3年生が、市民観覧席で大風合戦を観戦しました。

当日は、昨年中之島中学校の生徒が絵を描いた大風合戦に「参戦」。大風の皆様の手により、初夏の青空に高く舞い上がり、「地絡め」でも熱戦を演じました。

生徒たちは、先輩が作った大風の雄姿に熱い視線を送り、会場は歓声と笑顔で溢れていました。

また、地域伝統の大風に親しみと関心をもってもらうと、中之島中学校に白風を配布。生徒たちは夏休み期間を利用して、白風にオリジナルの絵を描きました。そして、知恵を出し合い、協力して作り上げた大風は、9月5日(土)に行われた運動会の応援パネルとして登場。選手たちは迫力満点の応援パネルを背に、優勝目指して若い力をぶつけ合いました。



迫力満点の応援パネル



凧の仕込みのお手伝い

さらに、中之島中学校では、11月10日(火)、総合学習の一環として、運動会の応援パネルに活用した大凧の凧揚げに、3年生全員が挑戦しました。

今年は凧の仕込みも体験しました。生徒たちは、凧組の皆様の説明に耳を傾け、慣れない手つきながら真剣な表情で糸を付けていました。

に挑戦です。凧組の皆様の指導のもと、掛け声を合図に生徒たちはグラウンドを全力疾走。4枚の大凧が晩秋の空を雄大に舞いました。

伝統行事を受け継ぎ、そして次の世代に引き継ぐ重要性和大変さを感じながら、生徒たちは大凧の凧揚げを存分に楽しんでいました。



「そら揚がれっ!!」生徒たちは糸を握って全力疾走



大凧と一緒に記念撮影



初めての凧揚げ体験。グラウンドは笑顔でいっぱいでした



校舎を背に雄大に舞う4枚の大凧

事業その2
なかのしま探検隊



「なかのしま探検隊」隊員証授与。これから中之島の名所に行けます！

7月26日(日)と10月13日(火)の両日、中之島地域にお住まいの皆様から、「中之島の魅力と宝」を発見していただくことを目的に、「なかのしま探検隊」と銘打って、中之島の名所めぐりを実施しました。

7月26日(日)は、親子を対象に募集し、24名の参加をいただき、長岡市の有形文化財に指定されている「大竹邸記念館」など6ヶ所を見学し、10月13日(火)は、一般の皆



お狐様の前で、名物のカタモチをパクリッ！【稲島稲荷神社】

様を対象に募集し、14名の参加をいただき、長岡市の史跡文化財に指定されている「与茂七地藏尊」など4ヶ所を見学しました。
各見学場所では、記念撮影をしたり、展示物や風景を興味深く眺める姿が多く見られ、また、ガイドの方からの説明には、熱心に耳を傾けていました。
ふるさと中之島を、地域の皆様

に知っていただくことを目的に企画した「なかのしま探検隊」。参加者の皆様からは、「行ったことのない場所や、今まで知らなかった場所に連れて行ってもらって良かった。また参加したい。」「地域を再認識することができ、楽しかった。次は別の場所にも行ってみたい。」という声を多くいただきました。

「なかのしま探検隊」での見学場所は次のとおりです。

大竹邸記念館

7月26日・10月13日



中之島が生んだ偉大なる政治家「大竹貫一」先生の生家で、ゆかりの品々が展示されています。大竹貫一先生の活躍ぶりや数々の功績などをお聞きし、美しい庭園を散策しました。

中之島大橋

7月26日



平成21年1月に開通した中之島大橋。参加者の中には「渡り初め」の方も？河川工事の様子を眺めたり、橋の上からの景色を楽しみました。

れんこん田

7月26日



中之島の特産品「大口れんこん」が栽培されているれんこん田。大きく育った蓮の葉が見頃で、ところどころに咲いている蓮の花がとてもきれいでした。

みずほ団地内調整池

7月26日



中之島地域でメダカを育てる活動に取り組んでいる「メダカの学校」がメダカを飼育している場所です。当日はメダカの放流体験も行われました。

JAカントリーエレベーター

7月26日



中之島のおいしいお米を乾燥・調整・貯蔵するカントリーエレベーターでは、展望台から、遠くの山々や眼下に広がる美しい田園風景などの景色を楽しみました。

稲島稲荷神社

7月26日・10月13日



商売繁盛、病気平癒にご利益があるとされる稲島稲荷神社。お狐様と、奉納されたたくさんの赤い鳥居が迎えてくれました。名物のカタモチもおいしくいただきました。

杉之森薬師堂

10月13日



本尊の薬師如来座像は、鎌倉時代の中央仏師による秀作で、県の有形文化財に指定されています。当日は、特別に御開帳していただきました。

与茂七地蔵尊

10月13日



約300年前、洪水から村を守り、一身を犠牲にして村人のために尽くした義民大竹与茂七氏を祭った地蔵尊です。壮絶な生涯を遂げた大竹与茂七氏の話に、みなさん聞き入っていました。

大口れんこん収穫体験ツアー

9月26日(土)、中之島の特産品「大口れんこん」の魅力を感じてもらおうと、「大口れんこん収穫



膝まで泥につかりながらの収穫体験。立派なれんこんが採れました

体験ツアー」を開催し、県内外から27名の参加をいただきました。大口れんこんの収穫体験では、参加者全員が「胴長」と「手袋」を身に付け、生産組合の皆様からサポートを受けながら、れんこん掘りがスタート。参加者の皆様は、大人でも膝までつかる泥の中、手

探りでれんこんを探し当て、丸々と太ったれんこんを掘り出すと、満面の笑みで歓声を上げていました。

昼食では、大口れんこんをメインに、地元食材を使った料理10品が、新米コシヒカリのおにぎりとともに振る舞われました。

れんこん田での格闘を終え、お腹を空かせた参加者の皆様は、地元食材の絶品フルコースにどんどんと箸を伸ばし、次々と胃袋に「おいしい！」という声があちら



参加者の皆様も、採れたてれんこんを調理

こちらから聞こえました。

れんこん料理教室では、大口れんこんを使ったいろいろなレシピが紹介されるところにも、参加者も一緒に採れたて大口れんこんの皮をむき、切って、茹でて、れんこんのキムチ和えなどを作りました。

また、今年は「蓮の実アート」にも挑戦。生産組合の



新鮮な地元の食材を使った絶品料理に舌鼓



はさみ片手に蓮の実アート体験

皆様から作り方を教えてもらいながら、はさみを器用に使って、蓮の実をきれいな花の形に変身させました。

他にも象鼻杯体験やれんこん田での乗舟体験など、大口れんこんの魅力之余すことなく満喫した、まさに「れんこんづくし」の一日となりました。